



藤戸竹喜
《ふくろう祭り ヤイトンキエカシ像》
2013年
撮影 露口啓二

国立民族学博物館 開館40周年記念企画展 アイヌ工芸品展

現れよ。森羅の生命 — 木彫家 藤戸竹喜の世界

yaykursapte! kamuy utar, inuyekur Fujito Takeki kar mosir

A World Full of Life: The Art of Fujito Takeki, an Ainu Master Carver

2018年1月11日(木)ー3月13日(火) 会場: 国立民族学博物館 本館企画展示場

開館時間: 10:00~17:00 (入館は16:30まで) 休館日: 水曜日

観覧料: 一般420円(350円) 高校・大学生250円(200円) 中学生以下無料

○上記観覧料は、本館展示との共通料金です。○()は、20名以上の団体料金、大学等*の授業でご利用の方、授業レポート等の作成を目的とする高校生、3ヶ月以内のリピーター、満65歳以上の方の割引料金(要証明書等) *大学等は、短大、大学、大学院、専修学校の専門課程 ○障がい者手帳をお持ちの方は、付添者1名とともに、無料で観覧できます。

○毎週土曜日は、高校生は無料で観覧できます。ただし、自然文化園(有料区域)を通行される場合は、同園の入園料が必要です。

○2月15日(木)から一部作品が入替わります。○3月11日(日)は本館展示・企画展の無料観覧日です。

主催: 国立民族学博物館、公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構
後援: 国土交通省、北海道教育委員会、公益社団法人北海道アイヌ協会、大阪府、吹田市、吹田市教育委員会
出品協力: 一般財団法人前田一歩園財団、NPO法人元気の丘ギャラリー、株式会社ほくみん、正徳寺、
鶴雅リゾート株式会社、角谷博氏、佐々木猛氏、藤戸竹喜氏、吉田いし氏



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology



鹿を襲う熊と狼 1978年 作家蔵

現れよ。森羅の生命 — 木彫家 藤戸竹喜の世界

藤戸竹喜（ふじと たけき／1934－）は、旭川を拠点に「熊彫り」を生業としていた父のもとで、12歳から木彫を始めました。以来、父祖の彫りの技を受け継ぎながら、熊をはじめ狼やラッコといった北の動物たちと、アイヌ文化を伝承してきた先人たちの姿を木に刻み、繊細さと大胆さが交差する独自の世界を築いてきました。卓抜なイメージ力・構想力とともに、生命あるものへの深い愛情に根ざした生氣あふれる写実表現は、他の追従を許さず、北海道を代表する彫刻家として国内外から高い評価を得ています。平成27年度に北海道文化賞、平成28年度には文化庁から地域文化功労者として表彰されました。

本企画展では、動物たちの俊敏な動きをとらえた初期作から、民族の歴史と威厳をモニュメンタルに伝える等身大人物像まで、約90点の作品を一堂に展示し、70年にわたる創作活動の軌跡とその背景をたどります。

※2月15日（木）から一部作品が入れ替わります。



ゴミを捨てないで！ 2003年（公財）アイヌ文化振興・研究推進機構蔵



ジンベイザメ 1993年 作家蔵



川の恵み 2000年 鶴雅リゾート（株）蔵



モガニ 1995年 吉田いし氏蔵



狼と少年の物語 2017年 作家蔵

藤戸竹喜（1934－）

Fujito Takeki



北海道美幌町生まれ。まもなく旭川に移り、父・竹夫のもとで熊を彫り始める。15歳から3年間は夏を阿寒湖畔の土産物店で、冬は父のいる旭川で過ごした後、武者修行として全道の観光地を回る。1960年に再び阿寒に戻って職人として土産物店で働き、1964年に阿寒湖畔に民芸品店「熊の家」を構えて独立。1969年には前田一歩園三代目園主・前田光子の依頼で《樹霊観音像》を制作、正徳寺（阿寒湖畔）に納める。以降、注文制作が増え、展覧会等への出品も増える。

主な展覧会歴に、「AINU: Spirit of a Northern People」（1999年：米国スミソニアン協会国立自然史博物館）、「AINU ART一風のかたりべ」（2012-13年：平成24年度アイヌ工芸品展・北海道立近代美術館ほか）など。画廊や百貨店での展覧も多数。2014年には、J R札幌駅西コンコースにイランカラテキャンペーンの一環として札幌大学ウレシバクラブによりアイヌアートモニュメントが設置され、そのメイン像《エカシ像 クリムセ（弓の舞）》を制作した。

関連事業

▷アーティスト・トーク

藤戸竹喜氏に作品について語っていただきます

1月11日（木）14:00～（30分程度）

場所：本館企画展示場

申込不要／要展示観覧券

▷みんぱくゼミナール

「木彫り熊からアートモニュメントまで」

1月20日（土）13:30～15:00（13:00開場）

講師：

五十嵐聡美（北海道立近代美術館）

貝澤徹（木彫家）

岡田恵介（公益財団法人アイヌ文化振興・

研究推進機構）

齋藤玲子（国立民族学博物館 准教授）

場所：本館講堂

定員：450名（先着順） 申込不要／参加無料

▷みんぱくウィークエンド・サロン —研究者と話そう—

「木彫家 藤戸竹喜の世界」

2月25日（日）14:30～15:30

講師：齋藤玲子

場所：本館ナビひろば・企画展示場

申込不要／要展示観覧券

▷友の会講演会

「藤戸竹喜の世界を深く知るために」

3月3日（土）13:30～14:40

講師：齋藤玲子

場所：本館第5セミナー室

定員：80名（先着順）

友の会会員：無料（会員証提示）、一般：500円

※講演会終了後、講師の案内のもと企画展の見学会をおこないます。

（要友の会会員証、もしくは展示観覧券）

※表面の日本語の展覧会名の下には、アイヌ語と英語の展覧会名を記載しています。※写真はすべて露口啓二撮影



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

●開館時間…………… 10:00～17:00（入館は16:30まで） ●休館日…………… 水曜日、年末年始（12月28日～1月4日）

●観覧料…………… 一般420円／高校・大学生250円／中学生以下 無料
※観覧料割引についてはホームページでご確認ください。

交通のご案内

●大坂モノレール…「万博記念公園駅」、「公園東口駅」徒歩約15分

●バス…………… 阪急茨木市駅・JR茨木駅から「万博記念公園駅（エキスポシティ前）」「日本庭園前」下車徒歩約13分

●乗用車…………… 万博記念公園「日本庭園前駐車場」（有料）から徒歩約5分
※「日本庭園前ゲート」横にある当館専用通行口をお通りください。

※高校・大学生・一般の方は自然文化園（中央口、西口、北口）窓口で、当館の観覧券をお買い求めください。同園内を無料で通行できます。 ※小・中学生が自然文化園（有料区域）を通行される場合は、自然文化園（中央口、西口、北口）有人窓口で、みんぱくへ行くことを申し出いただき、無料通行券を受け取ってください。 ※東口からは、自然文化園（有料区域）を通行せずに来館できます。 ※東口または日本庭園前駐車場から来館し、自然文化園（有料区域）を通行してお帰りの場合は、同園入園料が必要です。

【大阪・万博記念公園】
〒565-8511
大阪府吹田市千里万博公園10番1号
Tel:06-6876-2151（代） Fax:06-6875-0401
www.minpaku.ac.jp/
〈公式Facebook〉
www.facebook.com/MINPAKU.official

